



2学期 スタート

三島市は、2学期制をとっているため、10月7日（金）が、1学期の終業式で、10月11日（火）が、2学期の始業式になります。Teamsでのオンライン集会で、子供たちに伝えたことを紹介します。

1学期の終わりの会では、1学期101日をふりかえり、がんばってきたことを伝えました。

1 相手の気持ちを思いやる子

1学期の終わりに渡した子供たちの「はげみ」から、「思いやる」行動を伝えました。

- ・友達と笑顔で楽しそうに過ごし、分からない事がある友達を手伝う姿も見られました。
- ・友達のよいところを見つけて、褒めることができる〇〇さんの周りには、休み時間になると多くの友達が集まっています。
- ・困っている友達がいるとすぐに声をかけて、手を差し伸べてあげる姿もたくさんみられました。優しい心遣いに感心しました。

「手伝える」「声をかける」「手を差し伸べる」「友達の良いところを見つける」など、具体的に行動しているところがすばらしいと思います。

2 自分から進んで取り組む子

(1) あいさつ

夏休み明けの全校集会で話した気持ちのよいあいさつも、自分から進んで取り組む行動の一つです。気持ちのよいあいさつができるポイントを伝えたところ、早速行動で示してくれました。南小の子供たちは、行動に表してくれます。

登校のとき、廊下ですれ違ったときの「あいさつ」が変わってきました。

○ 顔を見て あいさつ ○ 笑顔で あいさつ

このような「あいさつ」ができる子供が増えてきました。このような「あいさつ」を交わすと、自分が笑顔になり、元気になることを実感しています。

○ 先に あいさつ

「先手 挨拶 後手 返事」と言われるように、私は、「先に あいさつ」することを心がけていましたが、子供たちから先にあいさつをされることが多くなりました。

○ 名前を呼んで あいさつ

私は、まだまだできていませんが、子供たちから「校長先生、おはようございます」と、あいさつされることが多くなりました。名前を呼ばれると自分にあいさつをされているということがよくわかります。

○ あいさつをして 礼

礼儀正しいすてきなあいさつも、たくさん見られました。

ふだん、私があいさつをしても、1学期間あいさつが返ってこなかった子供もいましたが、小さな声で「おはようございます」と返ってきました。勇気があることだったと思います。自分から進んで「あいさつ」ができたことが素晴らしかったし、うれしかったです。

また、児童会も、自分たちの考えて「あいさつ あふれる南小学校にしよう」ということで、どちらのあいさつが良いか比較したり、児童会が「あいさつのすばらしい子供」を見つけて、あいさつするとき心がけていることをインタビューしたりして、動画にしていました。

「子供は打てば響く」ということを感じた、子供たちのあいさつの姿や取組でした。今後もすてきなあいさつを認め励ましていきたいと思っています。家庭でも、地域でも「よい あいさつ」を話題にしていだければと思います。



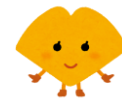
3 11月2日 三島市指定研究発表会～1人1台端末で変わる学校～

三島市指定の研究発表会があり、市内の先生方に、研究の成果を見ていただきます。

南小は、新学習指導要領の趣旨である「主体的、対話的で深い学び」に結びつくための1人1台端末の効果的な活用について研究しています。

端末（タブレット）を活用するによって

- ・今まで、挙手をしての発表では見えなかった子供の意見を知ることができた。
- ・友達の意見がどんな意見なのかを、一瞬のうちに共有できるようになった。
- ・何をしたらよいのか、わからなかった子供が、友達の意見をヒントに取り掛かることができるようになった。



子供たちが「何か調べようと思ったとき」に主体的に活用することや、協働的・対話的に「友達と意見を交わしたり、助言をもらったりすること」によって、子供の考えが再構築される授業になっていると思います。

学校運営協議会のみなさまにも、授業参観の後、1人1台端末（タブレット）の活用の様子を見ての感想をいただきました。

- ・タブレットの活用の仕方を、一人一人が選択(自己決定)している様子でした。
- ・わからない言葉を進んで調べるためにタブレットを活用していました。

このように、多様な活用の仕方を評価していただきました。研究発表会は11月2日で終わりますが、子供たちと共に、さらなる活用の仕方について研究を続けていきたいと思っています。



4 11月26日 創立150周年記念式典

始業式の日、今年度は「南小ができて150年たった記念の年である」ことを伝えるとともに、簡単に、南小の150年を振り返り、「給食のはじまり」「プール」「校舎・体育館」ができたとき等を写真と共に伝えました。

また、今復興を目指している「ちから山」の建設当時の様子がわかったので、それらを伝えました。

当時のPTAが、「運動場に、ほかに遊ぶところがないので、運動場の隅に遊べる場所、体力づくりできる場所を作ろう」ということがきっかけとなり、「ちから山を作ろう」となった理由です。朝から、夜まで作業をしてできたそうです。

来校する卒業生に、「ちから山」でどれだけ遊んだかを聴くことができました。私は、校長室にある資料に頼るだけの150年の振り返りでしたが、体験された方々の話は心が打たれます。たくさんの卒業生の保護者、地域の方々から話をうかがえたら嬉しいと思っています。



5 10月8・9日 「おやじと遊ぼう&学校に泊まろう」

コロナで開催を見送っていた会が、7月終わりの予定した会を延期して、10月8・9日に開催されました。子供たちの笑顔を見るために、「南小おやじの会」が何度も打ち合わせを重ね、開催に至りました。「おやじと運動会」「おやじと宝探し」「おやじを捕まえろ」「おやじの手作り料理」「夜の肝試し」と、充実した内容でした。子供たち、保護者のみなさんの笑顔があふれていました。

運動場や体育館にテントで宿泊される様子も新鮮な光景でした。

「おやじの会」のみなさん、本当にありがとうございました。



6 朝の通行禁止区間

南小東側・西側の道路は、午前7時から8時まで通行制限があります。改めて御承知おきください。通行制限時間帯以外にも、道路に止めての乗り降りは危険ですのでお控えください。